

八王子

サークル

かわらばん 100

10年半、100号

2015年10月に第1回の「八王子サークル」を開いてから10年半が経過しました。コロナ禍で開催できなかった期間がありましたが。そして、この「八王子サークルかわらばん」が100号です。「継続することが力です」と励ましてくださる声もいただきました。小学校での算数の指導の大変さ、中学校の状況と指導の難しさ、そして高校数学の話題など、私は毎回の話題を楽しみにしています。これからも続きます。気楽にご参加ください。

【おもちゃ箱】

- (1) 鏡を使って線対称（市橋）：1月に北海道で開かれた「全国中学校集会」で紹介された内容です。鏡は“ミラー工作用紙”を使っています。画材店などにあります。「アマゾン」で購入できるとのことです。意外と手こずったりします。
- (2) クロス・ナンバー・パズル：左側の問題は中学生に、右側の問題は数Ⅰの内容が含まれています。左は『続やってみる算数』（草土文化）、右は教科書（実教出版）に載っていた問題です。

【実践報告】

1. かけ算九九指導には論理の飛躍がある（清末さん）

「論理としては、1あたり量（1あたりの数）×土台量（いくつ分）⇒倍（基準量×倍）⇒かけ算九九の指導
かけ算指導の中でどのあたりで、基準量×倍的なかけ算を入れていくか？」

また、“数”“式”の意味は説明していないことも気になっているということです。

2. 「ウェーブマシン」（増淵さん）

動的にサインカーブを見ることができます。長さ50～60cmくらいの細い木の棒を何本も横に並べ、それを2本のひもでつなぎ、梯子状にする。その両端を2人で持ち、棒を左右にゆらすと、見事にサインカーブが見られました。（図や写真がなくてごめんなさい。）いつもながら、増淵さんの教具に感心します。

3. 「ガウディの建築とフィボナッチ数列」（増淵さん）

これは、生徒（高3）の研究発表の報告です。内容は、「ガウディ建築に見られるサインカーブ」を紹介し、次に、フィボナッチ数列について述べています。自然界に見られるフィボナッチ数列の例（ひまわり、まつかさ、デイズ、パイナップル、アスパラガス他）を見せる。さらに、螺旋を描く方法まで言及しています。「すごい！」これが感想です。

他の話題として、平戸さんから、生徒との関わりの様子を伺いました。いかに数学に向き合わせるか、工夫をされていることが分かります。

（参加者4名）

今度は 3月27日（金）18：30～20：30

八王子クリエイティブホール（10階）第4学習室

（内容）おもちゃ箱（教具作り）と実践報告

※事前の参加申し込みは不要です。近くの人をさそって、当日、直接会場においでください。

※会場費 100円

※問い合わせ先：市橋公生 〒193-0803 八王子市榎原町980-145

TEL・FAX：042-625-2286 Mail アドレス：kimio184@nifty.com

次回は、4月24日（金）18：30～20：30 八王子クリエイティブホール（10階）第4学習室